

祖霊・地母神への畏敬の念

去る十月二十一日に田辺市で「田舎暮らし応援県わかやま推進会議」の設立総会が開催されました。

昨年十月には都市部から地方への移住交流を推進する全国組織「移住・交流推進機構」が設立されたのに呼応する形で、我が和歌山県にも受け入れ推進の組織が立ち上がった訳です。

かつて盛んであった分譲別荘の購入と、田舎暮らしの違いは、田舎暮らしは、単に田舎の不動産を購入・賃貸して都市から移り済むというのではなく、村落共同体の一員となって地域の維持発展の一翼を担うという「能動的行動である」ことにあります。

能動的行動は時として軋轢を生じる場合があります。幸いにして、移住の現場では、移住された方・地元住民の方・自治体や集落・移住ビジネスに携わる事業者の方など、失敗・成功事例に学びながら着実に現場力が蓄積され、「失敗した田舎暮らし」の不幸なシナリオを回避するノウハウが蓄積されつつあります。

コンクリートなどの人工物に覆い尽くされた都市部にあっても、基底には多くの父祖・先人達の思いが埋もれています。まして、自然が多く残された地方部においては、祖霊や豊穡の神（地母神）への畏敬の念を地元の方と共有することこそが、田舎暮らし成功の秘訣ではないかと思えます。

理事長 渥美正道

新聞報道から 新聞社名は伏せて記載します

平成十九年五月

農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律（農山漁村活性化法）成立・公布

平成十九年十月

総務省と民間企業、地方自治体で構成する「移住・交流推進機構(英語名称:Japan Organization for Internal Migration、以下JOIN)」が5日、発足した。

JOINは、都市に住む団塊世代の移住を促すことを目的に、イベントやポータルサイトを通じて移住促進に関する情報を発信、地方の活性化や企業誘致につなげていく考えだ。

平成二十年三月

定年後は田舎で暮らしたい。でも都会にも住み続けたい。そんなシニアの夢を実現させる移住方法が注目されている。「デュアルライフ(二地域居住)。都市近郊にセカンドハウスを持つ都会人が増えると共に、地方自治体も交流人口増大を狙って動き出した。

平成二十年七月

：都市と地方 豊かさの再評価…

地方は貧しく疲弊しているといわれる。だが北海道や九州といった、「道州」単位の経済力はベルギーやデンマークなど欧州一國に匹敵する。しかも地方には豊かな自然やゆったりした時間が流れている。都会にならぬ「資源」を再評価し、国頼みから脱することで、地方の未来は拓けてくる。

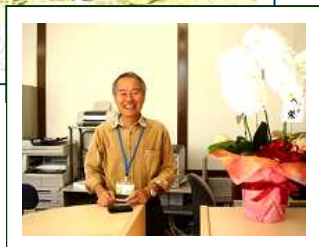
平成二十年十月

県は、官・民連携して都市部から移住者などを誘致

する「田舎暮らし応援県わかやま推進会議」を設立した。22日に田辺市新庄町のビッグ・ユード設立総会があり、会長に就任した和歌山大学経済学部の橋本卓爾教授は「推進会議は田舎暮らしをしたい都市住民と誘致したい地域の人の橋渡しや、それをビジネスチャンスとしてとらえ地域活性化に生かす二つの役割がある。公と民が協力し先進地になりたい」と話した。

平成二十年十月

田辺市秋津の農業法人「秋津野」(楠本健治社長)が十一月一日、旧上秋津小学校跡地に、農業体験宿泊施設「秋津野ガルテン」をオープンさせる。都市と農村の交流を目指した施設で、農家レストラン、貸し農園、ミカンの木のオーナー制度などのほか、地域と連携した各種体験メニューを用意しており、多くの利用を呼びかけている。



秋津野ガルテン
TEL 0739-35-1199
中西事務局長(奈良県出身)

情報セキュリティ
研究所
TEL 0739-26-7100
田辺湾を見下ろす絶
景の地に位置する、
情報交流センター
Big・U 内にある。



白井代表理事

NPO法人情報セキュリティ研究所
 …… 和歌山IT安全キャラバン隊 隊員募集中…
 ネット社会に潜む危険から子どもを守るために、小
 中校への出前講座を行っています。
 ・ケータイ 便利さの「光」と「影」と事件の増加
 ・有害情報(子どもに悪影響を与えかねないサイト)
 ・ネット詐欺(ワンクリック・フィッシング詐欺など)
 ・出あい系サイトでの被害に遭わないように
 ・ネットいじめの加害者・被害者にならないように
 ボランティアで応援して頂ける方 歓迎します。

あなたを待っている人が居る

平成 19 年 11 月
 第 8 回白浜カンファレンス 2007 (於: 和歌山) (於: bigU)
 第 1 回南紀サイエンスカフェ (於: bigU)
 主催: 日本技術士会近畿支部
 協力: IT交流プラザ、情報セキュリティ研究所



研究論文の発表風景 白浜町長歓迎挨拶



サイエンスカフェ風景 「材料の話」



開店間近のモテイルストン

TEL 090-8375-9920

河原代表と石釜



NPO法人かたつむりの会

若者の社会的自立支援の
 ために、ピザやパンを焼
 く石釜を備えた、コミュ
 ニティレストランの運営
 を計画。たくさんの方々
 の協力で開店にこぎ着け
 ました。(一月中頃目処)
 他府県からの移住者の
 方々が、地元の皆さんと
 の交流を深めながら、私
 達の活動を支えて下され
 ば、有り難いです。
 扇ヶ浜の駐車場、JR紀
 伊田駅から、それぞれ
 徒歩約十五分、閑静な市
 街に位置します。



2008年ふるさと回帰フェア in 大阪に出展しました

平成二十年十月四日にアジア太平洋トレードセンター（ATC）で開催された、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター・グリーン・ツーリズムフェア開催協議会が主催する「2008年ふるさと回帰フェア in 大阪」の「ふるさと市場」に、NPO法人菜の花会様 LLP 楽らく紀州様と共同で出展しました。



隣が「広島焼き無料サービス」で大人気だったお陰で、まあまあの成績でした。

菜の花会 大内さん

楽らく紀州 南家さん
Iターンプラザ 山際さん



昨年・第一回の模様 I ターンの方、地元の方、34名が参加



日時	平成21年2月11日(水) 14:00~16:00
内容	14:00~ 卓話「グリーンリゾート宣言 いこら・デ・日高」 講師：植田匡博 紀州ビジネスクラブ会長（高知市出身） 14:30~ 座談会「ふるさと暮らし・楽しみ方のコツ」 座長：三戸寿雄 LLP 楽らく紀州スタッフ（北九州市出身）
場所	日の岬国民宿舎 駐車場有り、JR御坊駅から路線バス有り TEL 0738-62-2231 FAX 0738-62-2232

参加ご案内

第二回「Iターン交流座談会 in 日高」を開催します。

参加費：500円（座談会の茶葉代）
申込、お問い合わせ：NPO法人Iターン交流プラザ 渥美まで
電話・FAX 073-494-3350 携帯 090-8533-6614
 主催：NPO 法人Iターン交流プラザ <http://www16.ocn.ne.jp/~kiju/>
 協力：紀州ビジネスクラブ（KBC） <http://www.kbc-net.co.jp/>
 LLP 楽らく紀州 <http://www.eonet.ne.jp/~rakuraku-kishu/>

ビブレホームはお客様の移住後のサポートを大切にします 不動産から建築までお任せ！

住宅保証システム 年中無休 住付ラブル対応 移住者交流イベント 新築・リフォーム相談

和歌山の田舎暮らしはお任せ

無料 オールカラーページ **物件カタログ** フリーダイヤル **0120 171709** イイナイイナマルク

海へ2kmの中古住宅が600万円で販売！

ホームページに物件情報満載 <http://www.vivrehome.co.jp/>

和歌山県知事許可(般-17)第15214号 和歌山県知事免許(1)第3476

田舎暮らしをもっと楽しく、もっと気らくに！
“楽らく紀州”は田舎暮らしの応援団です。
 LLP（有限責任事業組合）楽らく紀州

〒649-1532 和歌山県日高郡印南町印南原 6 6 5 - 1
 TEL & FAX 0738-44-0181
<http://www.eonet.ne.jp/~rakuraku-kishu>

次代を生きる・・・
古座川・本宮で出会った人達

人生に彩りを添えるのは、様々な情景下で、様々な人達に出会うことである。過去を墨守して生きる人達も、それはそれで尊敬すべきだろうが、やはり次代を生きる清新な生き様を選んだ人達に魅力を感じる。平成二十年九月、古座川・本宮で、そんな方達に出会った。



一枚岩



奈良県から古座川へ移住されている森さんご夫婦と愛犬（里山道場にて）

時々、大阪へ都会の空気を吸いに帰れるし、気候も人情も温かいのが良い。現役の時はい田舎へ来てのんびり釣りを楽しむのが夢だったが、現実には暇を持って余ってしまう。

地元で懇意にさせて頂いている方の紹介で、畑仕事に挑戦している。そういう関係になるまでの、地元の方達との交流が大切だ。ケーブルテレビでインターネットに接続できるので、情報環境での不足は無い。



光泉寺の（子授け）大銀杏



里山道場 <http://kozagawa.web.fc2.com>

「すさみ」から「古座」にかけての街道復活を願つ。（室さん父子）自宅前の休耕田をビオトープ、野生水生生物の観察場に開放。里山道場を主宰。 TEL.090-2704-7002

司馬さんが、古座街道を旅したのは、1975年4月27日、28日である。天王寺駅午後7時発の紀勢本線「きのくに14号」で南下し、白浜に1泊した後、翌朝、すさみから古座街道に入った。この古座街道沿いの家並は、ほとんど大正期から時間が停止しているように物寂びている。

司馬遼太郎の風景
熊野 古座街道より

和歌山市内から田辺市本宮町に移住。本宮大社近くに七〇〇坪の敷地を取得、世界遺産熊野古道を巡る若者向け民宿経営に挑む。



本宮大社前町並み
民宿予定地と山本さん
電話 0735-42-0800



	NPO 法人 I ターン交流プラザ 紀(K)州への移住(IJU)と、長命の喜寿
設立年月日	平成18年9月4日 認証番号：和歌山県指令N協第99号
事務所	和歌山事務所 TEL 090-8533-6614 和歌山市府中 1011-45
	田辺事務所 TEL (0739)25-2536 田辺市朝日ヶ丘 10番4号
	古座川事務所 TEL (0735)78-0244 古座川町相瀬 290-2
URL	http://www16.ocn.ne.jp/~kiju/
E-mail	KLJUsince2006@yahoo.co.jp



清流古座川河畔の
静かな和風旅館

神保館

串本町中湊 535
TEL 0735-72-0046
FAX 0735-72-0061

紀州雑賀党(さいかとう)の流れを(む先祖をもち、「雑賀屋」の屋号で江戸時代 初期から代々商家を営み、醸造業(醤油製造)を経て、大正元年から旅館業を営む。熊野古道大辺路沿いの古座川下流に位置し、昔ながらのたたずまいを維持しており、訪れた著名人も多数にのぼる。